

中学校第1学年 単元別確認テスト 1

単元名：〔正の数・負の数（啓林館）〕〔正負の数（東京書籍）〕	①② (/ 2) 知識・理解	③～⑥ (/ 4) 技能	⑦～⑩ (/ 4) 見方や考え方	得点 (/ 10)
1年 () 組 () 番 氏名 ()				

○ 次の問いに答えなさい。

① 次の数の中で、正の数、負の数をそれぞれ答えなさい。

$+4, -2, +0.6, -\frac{1}{2}, 0, 1, -0.3$

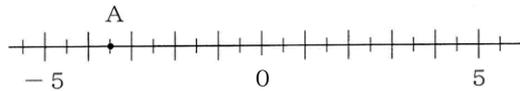
正
負

② 絶対値が3より小さい整数を、すべて答えなさい。

--

[①② 知識・理解]

③ 次の数直線で、点Aに対応する数を答えなさい。



--

④ 1000円の収入を+1000円と表すとき、800円の支出は 円と表される。 にあてはまる数を答えなさい。

--

○ 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

⑤ $-0.2, 0.01$

--

⑥ $-\frac{5}{6}, -\frac{2}{3}$

--

[③～⑥ 技能]

○ 次の表は、生徒A～Eのテストの得点とそのクラスの平均点77点よりも何点高いかを表したものです。次の問いに答えなさい。

生徒	A	B	C	D	E
平均との違い	-4	+6	-2	0	+3

⑦ 平均点より得点の高い生徒をすべて答えなさい。

--

○ ある中学校では、自分で目標ページ数を決めて読書に励み、1日の読書のページ数が目標ページ数よりも何ページ多かったかを、記録するようにしています。次の問いに答えなさい。

⑧ 佐藤さんの昨日の読書の記録は、『-10 ページ』でした。このことから分かることを説明しなさい。

--

⑨ 鈴木さんは145ページ読書をした日に、『-25 ページ』と記録しました。鈴木さんの目標ページ数を答えなさい。

--

⑩ 昨日の読書の記録について3人が会話しています。

田中さん「僕は『-2 ページ』だったんだ。」

高橋さん「私は『+13 ページ』でした。読んだページ数は渡辺さんと同じでした。」

渡辺さん「目標ピッタリ。一番たくさんのページ数を読んだのは田中さんか。」

上の会話から3人の目標ページ数について分かることを説明しなさい。

--

[⑦～⑩ 見方や考え方]

中学校第1学年 単元別確認テスト1 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔1章1 正の数・負の数 (啓林館 P.12~P.22)〕〔1章1 正負の数 (東京書籍 P.8~P.16)〕							
〈学習指導要領〉		(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し, その四則計算ができるようにするとともに, 正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。							
A 数と式		ア 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。 エ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			見方や考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	正の数・負の数の意味を理解している。	正 +4, +0.6, 1			○	○			90%
		負 $-2, -\frac{1}{2}, -0.3$							
②	絶対値の意味を理解している。	$-2, -1, 0, 1, 2$			○		○		75%
③	数直線上にある点を負の数を使って表すことができる。	$-3.5 \left(-\frac{7}{2}\right)$		○			○		90%
④	正の数・負の数を用いて反対の性質を表すことができる。	-800		○			○		90%
⑤	小数の正の数・負の数の大小関係を不等号を用いて表すことができる。	$-0.2 < 0.01$		○			○		85%
⑥	分数の負の数どうしの大小関係を不等号を用いて表すことができる。	$-\frac{5}{6} < -\frac{2}{3}$		○			○		80%
⑦	正の数・負の数を用いて, 基準より高いか低いかを考えることができる。	B, E	○			○			90%
⑧	正の数・負の数を用いて, 数量の関係を考えることができる。	昨日, 佐藤さんは目標ページ数に10ページたりなかった。	○					○	80%
⑨	正の数・負の数を用いて, 数量の関係を考えることができる。	170ページ	○				○		80%
⑩	正の数・負の数を用いて, 数量の関係を考えることができる。	田中さん, 渡辺さん, 高橋さんの順に目標ページ数が多い。	○					○	70%
合計 10 問			4	4	2	2	6	2	83%

中学校第1学年 単元別確認テスト 2

単元名：[正の数・負の数の計算, 正の数・負の数の利用 (啓林館)] [加法と減法, 乗法と除法, 正負の数の利用 (東京書籍)]	①② (/ 2)	③~⑥ (/ 4)	⑦~⑩ (/ 4)	得点 (/ 10)
1年 () 組 () 番 氏名 ()	知識・理解	技能	見方や考え方	

○ 次の問いに答えなさい。

① $3 - 5 + 2$ の式の項をすべて答えなさい。

② $-\frac{3}{4}$ の逆数を答えなさい。

[①② 知識・理解]

○ 次の計算をしなさい。

③ $7 + (-14)$

④ $-6 + 3 \times (-4)$

⑤ $12 \div (-\frac{2}{5}) \times \frac{8}{3}$

⑥ $(-2)^2 + 27 \div (5 - 8)$

[③~⑥ 技能]

○ 次の問いに答えなさい。

⑦ ある数から -5 をひく計算で、まちがえて 5 をひいたので、答えが 3 になりました。この計算の正しい答えを求めなさい。

⑧ 次の○と□には自然数が入ります。(ア) ~ (エ)の中から、答えが整数の集合に含まれるものをすべて選び、記号で答えなさい。

(ア) $\bigcirc + \square$ (イ) $\bigcirc - \square$ (ウ) $\bigcirc \times \square$ (エ) $\bigcirc \div \square$

⑨ 今週の月曜日の気温は 18 度でした。次の表は、今週の火曜日から土曜日までの気温を前日の気温と比較し、何度高かったかを示したものです。いちばん気温が高かった日の曜日とその日の気温を答えなさい。

曜 日	火	水	木	金	土
前日の気温との差	-4	$+5$	$+1$	-2	$+3$

曜日	気温
----	----

⑩ 次の表は、生徒A~Eの身長が、 160 cmより何cm高いかを示したものです。5人の身長の平均が 160 cmより高いか、低いかを答えなさい。また、その理由も答えなさい。

生 徒	A	B	C	D	E
160 cmとの差	-4	$+2$	-7	0	$+3$

	理由
--	----

[⑦~⑩ 見方や考え方]

中学校第1学年 単元別確認テスト2 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名	[1章2 正の数・負の数の計算(啓林館 P.23~P.46), 1章3 正の数・負の数の利用(啓林館 P.47~P.49)] [1章2 加法と減法(東京書籍 P.17~P.28), 1章3 乗法と除法(東京書籍 P.29~P.44), 1章4 正負の数の利用(東京書籍 P.45~P.47)]								
〈学習指導要領〉	(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し, その四則計算ができるようにするとともに, 正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。								
A 数と式	イ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて, 正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。 ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。 エ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。								
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			見方や考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	式の項の意味を理解している。	3, -5, 2			○		○		90%
②	逆数の意味を理解している。	$-\frac{4}{3}$			○		○		90%
③	正の数・負の数の加法の計算をすることができる。	-7		○			○		90%
④	四則を含む式を, 正しい順序で計算することができる。	-18		○			○		90%
⑤	分数や小数を含む乗法, 除法の計算をすることができる。	-80		○			○		80%
⑥	指数をふくむ四則計算をすることができる。	-5		○			○		70%
⑦	与えられた情報をもとに, 正の数・負の数の計算方法を使って答えを考えることができる。	13	○				○		75%
⑧	結果が整数になるかの判断を, 四則計算のしくみをもとに考えることができ, 集合への分類ができる。	ア, イ, ウ	○				○	○	70%
⑨	正の数・負の数を用いて, 数量の関係を考えることができる。	土曜日 21度	○				○		80%
⑩	正の数・負の数を具体的な事象に適用し, 答えを考え判断の理由を説明することができる。	低い ・160cmとの差の和を求めると, $(-4) + (+2) + (-7) + 0 + (+3) = -6$ となり, 負の数となるから。 ・実際に平均を求めると158.8cmになるから。等	○				○	○	70%
合 計 10 問			4	4	2	2	8	2	81%

中学校第1学年 単元別確認テスト 3

単元名：〔文字を使った式（啓林館）〕〔文字を使った式（東京書籍）〕	①② (/ 2)	③～⑥ (/ 4)	⑦～⑨ (/ 3)	得点 (/ 9)
1年 () 組 () 番 氏名 ()	知識・理解	技能	見方や考え方	

○ 次の式を、文字式の表し方にしたがって表しなさい。

① $x \times 5 \times y \times x$

② $(a - 1) \div 3$

[①② 知識・理解]

○ 次の問いに答えなさい。

③ 山田さんの工場では、1週間で600台の目標で製品を生産しています。1日 x 台を生産するとき、3日目が終了した時点での、残りの生産台数を文字を使った式で表しなさい。

④ ケーキ1個を a 円、プリン1個を b 円で売っているお店があります。このとき、 $2a + 5b$ は何の数量を表しているか説明しなさい。

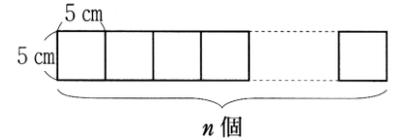
⑤ $x = -3$ のとき、 $7 - 2x$ の値を求めなさい。

⑥ a が負の数のとき、 $-(-a^2)$ の値は、正の数になりますか、負の数になりますか。次の(ア)～(ウ)の中から選び、記号で答えなさい。

(ア) 正の数 (イ) 負の数 (ウ) 場合によってはどちらにもなる

[③～⑥ 技能]

○ 右の図のように、1辺5cmの正方形を、すき間なく重ならないように n 個並べて、長方形をつくれます。このとき、次の問いに答えなさい。



⑦ 正方形を n 個並べてできた長方形の面積を n を使った式で表しなさい。

⑧ 正方形を 6 個並べてできた長方形のまわりの長さを求めなさい。

⑨ 山本さんは、「正方形を並べた時にできる長方形のまわりの長さを求めるには、 n を使った式を作っておくと便利だね。」と言いました。 n を使って、長方形のまわりの長さを表す式を答えなさい。また、正方形を 25 個並べたときにできる長方形のまわりの長さも求めなさい。

[n を使った式]

正方形を 25 個並べた時に
できる長方形のまわりの長さ _____

[⑦～⑨ 見方や考え方]

中学校第1学年 単元別確認テスト3 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔2章1 文字を使った式(啓林館 P.54~P.64)〕〔2章1 文字を使った式(東京書籍 P.52~P.62)〕							
〈学習指導要領〉		(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに, 文字を用いた式の計算ができるようにする。							
A 数と式		ア 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。 イ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			見方や考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	文字を用いた式における乗法の表し方を理解している。	$5x^2y$			○		○		90%
②	文字を用いた式における除法の表し方を理解している。	$\frac{a-1}{3}$			○		○		90%
③	事象の中にある数量やその関係を文字を用いて式に表すことができる。	$(600-3x)$ 台		○			○		85%
④	事象の中にある数量やその関係を表した式の意味を読みとることができる。	ケーキ2個とプリン5個の合計の代金		○			○		80%
⑤	文字式に数を代入して, 式の値を求めることができる。	13		○			○		80%
⑥	指数や()を使って表された文字式で, 負の数を代入したときの式の値の符号を正しく答えることができる。	ア		○		○			80%
⑦	事象の中にある数量やその関係を文字を用いて表現し, 一般的に考えることができる。	$25n\text{cm}^2$	○				○		80%
⑧	具体的な事象から, 答えを考えることができる。	70cm	○				○		80%
⑨	事象の中にある数量やその関係を文字を用いて表現し, 一般的に考えることができる。	$10n+10\text{cm}$ または $2(5n+5)\text{cm}$ $n=25$ を代入して計算すると, $10 \times 25 + 10 = 260$ 長方形の周りの長さ 260cm	○				○	○	70%
合計 9 問			3	4	2	1	8	1	82%

中学校第1学年 単元別確認テスト 4

単元名：〔文字式の計算（啓林館）〕〔文字式の計算，文字式の利用（東京書籍）〕	①～③ (/ 3)	④～⑦ (/ 4)	⑧～⑩ (/ 3)	得点 (/ 10)
1年 () 組 () 番 氏名 ()	知識・理解	技能	見方や考え方	

○ 次の問いに答えなさい。

① 式 $\frac{x}{3} - y + 1$ の項をすべて答えなさい。

② ①で， x ， y の係数をそれぞれ答えなさい。

x の係数	y の係数
---------	---------

③ 次の文章にあてはまる不等式を，次の(ア)～(エ)の中から，それぞれ選んで記号で答えなさい。

- (1) 1000円で1個 a 円のケーキ5つは買えませんでした。
 (2) 分速 a mの速さで1000m走ったら，かかった時間は5分以下でした。
 (3) 5と a の積は1000未満でした。

(1)	
(2)	
(3)	

(ア) $5a - 1000 \leq 0$ (イ) $5a < 1000$
 (ウ) $\frac{1000}{a} \leq 5$ (エ) $1000 - 5a < 0$

〔①～③ 知識・理解〕

○ 次の計算をしなさい。

④ $7x - 4 - 3x - 9$

⑤ $(15x - 9) \div (-3)$

⑥ $\frac{5x + 2}{3} \times 15$

⑦ $6(2x + 3) - 2(x - 5)$

〔④～⑦ 技能〕

○ 次の問いに答えなさい。

⑧ 次の表は，文字式を縦，横3個ずつ，入れたものです。縦，横，斜めの3つの文字式の和がどれも同じになるように，(ア)～(オ)にあてはまる式を求めます。(オ)にあてはまる式を答えなさい。

$-2x + 1$	(ウ)	(エ)
(ア)	$x - 2$	(オ)
(イ)	$-3x + 2$	$4x - 5$

⑨ y Lの水が入る水そうに，4 Lの水が入っています。この水そうに毎分 x Lずつ水を入れたとき，5分後，水の量の関係が $y < 5x + 4$ となりました。水そうはどのような状態になっているか説明しなさい。

⑩ 中村さんの家から学校までは2200mあります。普段中村さんは，分速200mの速さで自転車をこいで登校していますが，今朝は家を出て x 分が過ぎたところで自転車がパンクしたため，残りは分速80mの速さで y 分間歩いて登校しました。このとき，数量の関係を等式に表しなさい。

〔⑧～⑩ 見方や考え方〕

中学校 第1学年 単元別確認テスト4 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔2章2 文字式の計算（啓林館 P.65～P.76）〕 〔2章2 文字式の計算（東京書籍 P.63～P.70）, 2章3 文字式の利用（東京書籍 P.71～P.79）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と式		(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。 ア 文字を用いることの必要性と意味を理解すること。 イ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。 ウ 簡単な一次式の加法と減法の計算ができること。 エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			見方や考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	一次式の項の意味を理解している。	$\frac{x}{3}, -y, 1$			○		○	90%	
②	一次式の係数の意味を理解している。	x の係数： $\frac{1}{3}$ y の係数： -1			○		○	90%	
③	不等式や不等号の意味について理解している。	(1) (エ), (2) (ウ), (3) (イ)			○	○		80%	
④	簡単な一次式の加法・減法の計算ができる。	$4x - 13$		○			○	90%	
⑤	項が2つある式を分数でわる計算ができる。	$-5x + 3$		○			○	80%	
⑥	分数の形の式に数をかける計算ができる。	$25x + 10$		○			○	90%	
⑦	分配法則を用いて、一次式の計算ができる。	$10x + 28$		○			○	80%	
⑧	文字を用いた式の計算も数の計算と同じようにみて計算の方法を考慮することができる。	$-x$	○				○	70%	
⑨	不等式が表している数量の関係を、具体的な事象の中で考えることができる。	水槽から水があふれている。	○				○	80%	
⑩	与えられた情報をもとに、数量の関係を考えることができる。	$200x + 80y = 2200$	○				○	70%	
合計 10 問			3	4	3	1	8	1	82%

中学校第1学年 単元別確認テスト 5

単元名：[方程式 (啓林館)] [方程式とその解き方 (東京書籍)]	①② (/ 2)	③~⑦ (/ 5)	⑧~⑨ (/ 2)	得点 (/ 9)
1年 () 組 () 番 氏名 ()	知識・理解	技能	見方や考え方	

○ 次の問いに答えなさい。

① 次の方程式のうち、3が解であるものをすべて選んで記号で答えなさい。

- (ア) $8 - x = 5$ (イ) $2x - 4 = -2$
 (ウ) $4x + 2 = 5x + 5$ (エ) $10 - 3x = -2 + x$

② 方程式 $3x + 3 = 9$ を右のように解きました。右の(1), (2)の変形をするときに使う等式の性質を次の中から選び記号で答えなさい。

$3x + 3 = 9$	← (1)
$3x + 3 - 3 = 9 - 3$	←
$3x = 6$	← (2)
$x = 2$	←

- (ア) 両辺に3をたしても、等式は成り立つ。
 (イ) 両辺から3をひいても、等式は成り立つ。
 (ウ) 両辺に3をかけても、等式は成り立つ。
 (エ) 両辺を3でわっても、等式は成り立つ。

(1)	<input type="text"/>
(2)	<input type="text"/>

[①② 知識・理解]

○ 次の方程式を解きなさい。

③ $4x = 2x + 6$

④ $4 - 5x = 3x + 8$

⑤ $1.3x = 0.2(3 - x) + 1.2$

⑥ $\frac{1 - 2x}{3} - \frac{3 - x}{2} = 3$

○ 次の問いに答えなさい。

⑦ 方程式 $5(x - 2) + a = 3x - 2a$ の解が $x = -1$ であるとき、 a の値を求めなさい。

[③~⑦ 技能]

⑧ 次の方程式の解き方には、まちがいがありません。正しく直しなさい。

$\frac{3}{2}x - 5 = \frac{1}{4}x$
 両辺に4をかけると
 $6x - 5 = x$
 $6x - x = 5$
 $5x = 5$
 $x = 1$

⑨ 駅前のファストフード店で、加藤さんはハンバーガー5個とフライドチキンを3個買い、吉田さんはハンバーガー3個とフライドチキン7個を買ったところ、2人の代金は同じでした。ハンバーガー1個の値段は、フライドチキン1個の値段の何倍かを求めなさい。

[⑦~⑨ 見方や考え方]

中学校第1学年 単元別確認テスト5 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[3章1 方程式 (啓林館 P.80~P.90)] [3章1 方程式とその解き方 (東京書籍 P.82~P.92)]							
〈学習指導要領〉 A 数と式		(3) 方程式について理解し, 一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。 ア 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。 イ 等式の性質を基にして, 方程式が解けることを知ること。 ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			見方や考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	一元一次方程式及びその解の意味について理解している。	(ア) (エ)			○	○			90%
②	等式の性質と一元一次方程式の解き方について理解している。	(1) (イ), (2) (エ)			○	○			90%
③	移項の意味を理解し, 簡単な方程式を解くことができる。	$x = 3$		○			○		90%
④	移項の意味を理解し, 簡単な方程式を解くことができる。	$x = -0.5 \left(-\frac{1}{2}\right)$		○			○		90%
⑤	小数を含む一元一次方程式を解くことができる。	$x = 1.2 \left(\frac{6}{5}\right)$		○			○		80%
⑥	分数の形をした方程式を解くことができる。	$x = -25$		○			○		80%
⑦	x に与えられた解を代入することで, もとの方程式をaについての一元一次方程式と考えることができる。	$a = 4$		○			○		80%
⑧	方程式の解法における変形の過程と文字を用いた式の計算における変形の過程を振り返り, その違いを考えるとともに方程式を正しく解くことができる。	$6x - 20 = x$ $6x - x = 20$ $5x = 20$ $x = 4$	○					○	75%
⑨	等式の性質を用いて, 具体的な事象の中の数量の関係を考えることができる。	2倍	○				○		70%
合 計 9 問			2	5	2	2	6	1	83%